

# 令和3年度 保護者アンケート 令和3年12月1日～14日実施

甲府市立新紺屋小学校

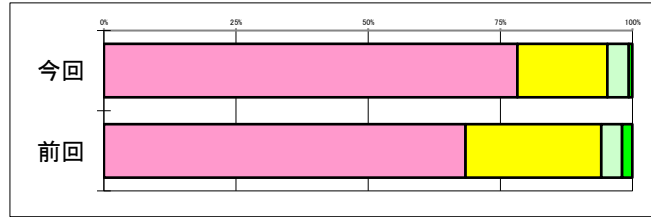
## I 学校運営に関して

あてはまる
ややあてはまる
あまりあてはまらない
あてはまらない

147/153回答

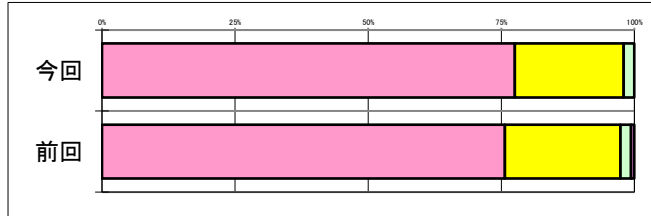
1 お子さんは、学校に行くことを楽しいと言っている。

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
今回	115	25	6	1
前回	104	39	6	3



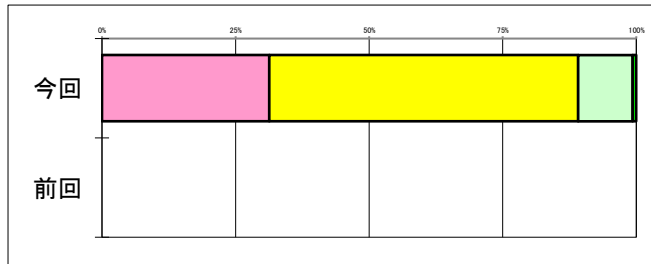
2 お子さんは、交通ルールを守り、安全に気をつけて登下校している。

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
今回	114	30	3	0
前回	115	33	3	1



3 お子さんは、災害時等にどのように行動するか身に付いている。

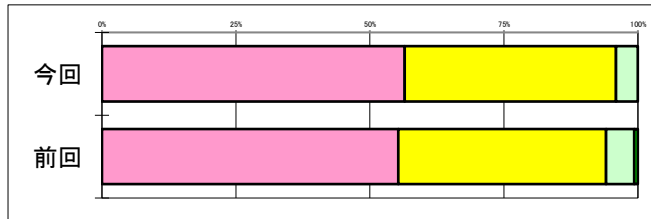
	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
今回	46	85	15	1
前回	0	0	0	0



## II 学習指導について

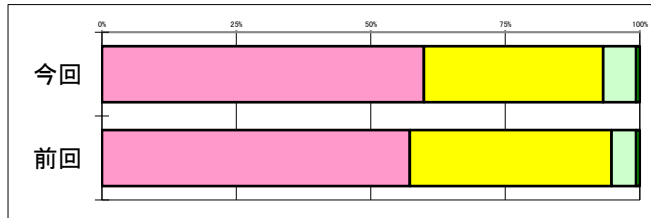
4 お子さんは、学校で学習するための基本的習慣\*を身につけている。

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
今回	83	58	6	0
前回	84	59	8	1



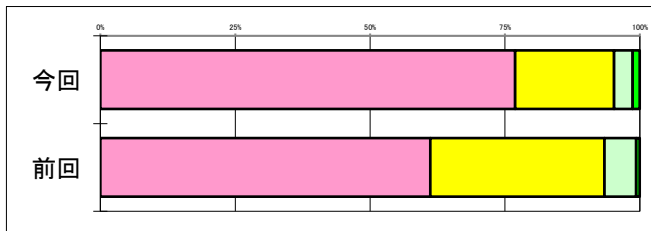
5 お子さんは、きめ細かな指導を受けて、授業の内容を理解している。

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
今回	88	49	9	1
前回	87	57	7	1



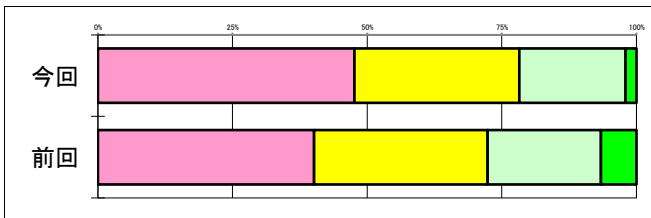
6 お子さんは、友達と関わり合い、楽しく学習している。

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
今回	113	27	5	2
前回	93	49	9	1



7 お子さんは、読書に進んで取り組んでいる。

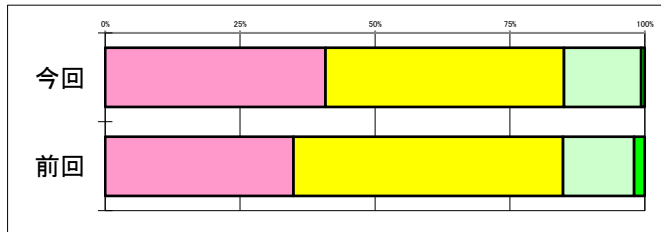
	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
今回	70	45	29	3
前回	61	49	32	10



### Ⅲ 生徒指導について

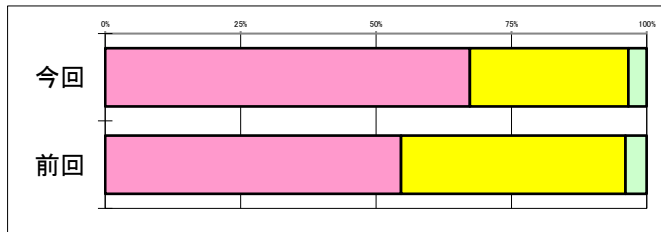
8 お子さんは、まわりの人に進んであいさつをしている。

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
今回	60	65	21	1
前回	53	76	20	3



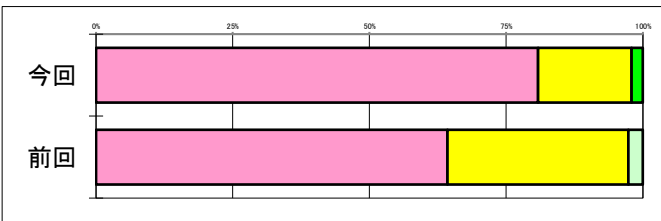
9 お子さんに、思いやりの心が育っている。

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
今回	99	43	5	0
前回	83	63	6	0



10 先生は、いじめのない学級づくりに取り組んでいる。

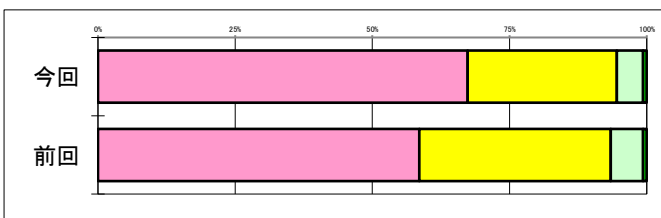
	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
今回	118	25	0	3
前回	97	50	4	0



### Ⅳ 連携について

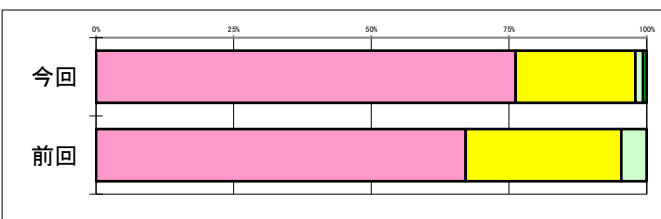
11 学校に、家庭やお子さんのことを気軽に相談することができる。

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
今回	99	40	7	1
前回	89	53	9	1



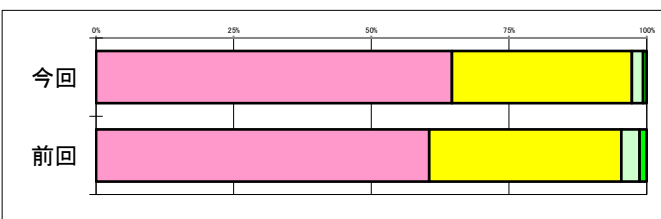
12 学校は、学校・学年通信等を通して、児童の様子を適切に伝えている。

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
今回	112	32	2	1
前回	102	43	7	0



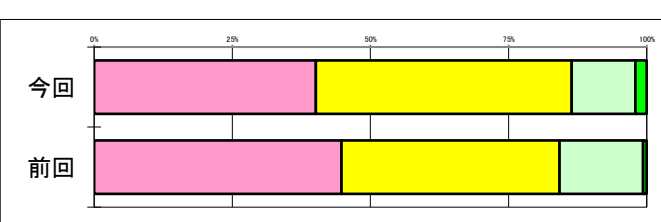
13 学校の教育方針や活動内容について関心をもっている。

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
今回	95	48	3	1
前回	92	53	5	2



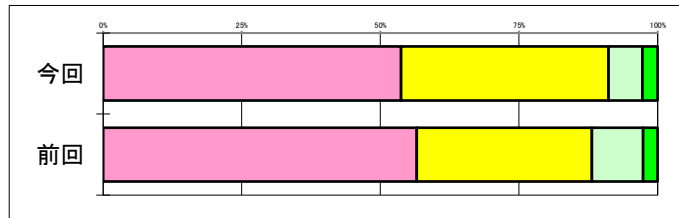
14 お子さんのノートや学習プリントなどをよく見ている。

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
今回	59	68	17	3
前回	68	60	23	1



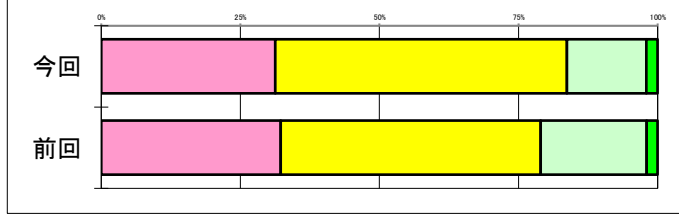
15 お子さんは、学校のことや友達のことをよく話す。

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
今回	79	55	9	4
前回	86	48	14	4



16 お子さんは、家の仕事(手伝い)をよくする。

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
今回	46	77	21	3
前回	49	71	29	3



全体的に肯定的評価が多い。傾向としては、昨年度並みか若干上昇傾向にある。その中で課題と思われる項目は、

・3「お子さんは災害時等にどのように行動するか身に付いている」

今回追加した項目であるが、肯定的評価は高いものの、他の項目に比べ「あてはまる」割合が低い結果が見られた。学校での避難訓練の状況が保護者にとって分かりにくいこともあると思うが、5年生の市職員を招いての防災教育授業において、「家族との待ち合わせを学校のどこの場所で落ち合うのか決めておく必要がある」という市職員からの話を受けて、子供たちの中にもそこまで考えていなかった児童が多かったことも「あてはまる」割合が低かったことに関連してのではないかと推測する。防災に限らず防犯においても、自分の身は自分で守ることを、日頃の生活の中でも折に触れ考えさせ、主体的に行動できる子供を引き続き育成していきたいと考える。

・5「お子さんは、きめ細かな指導を受けて、授業の内容を理解している」

「あてはまる」率が昨年度から上昇したものの、固定的な評価としてみると、昨年度よりも若干下回っている状況が見られた。つまりいている児童が増えつつあることを真摯に受け止め、やまなしスタンダード及び甲府スタイルの徹底を図りつつ、学習支援員や学生ボランティアと授業前後で情報を共有し、個に応じた指導を推進していきたいと考える。

・10「先生は、いじめのない学級づくりに取り組んでいる」

「あてはまらない」回答があることを真摯に受け止め、職員で情報を共有し、改善を図っていく。

・14「お子さんのノートや学習プリントなどをよく見ている」

15「お子さんは、学校のことや友達のことをよく話す」

16「お子さんは、家の仕事(手伝い)をよくする」

家での児童実態の状況を把握する項目であるが、「あてはまる」割合が全体的に低い状況が見て取れる。学習面や子供にとっての役割や思いやりの心の育成に、学校との連携を密に図りながら教育活動を進めていく必要がある。

